

必要とされるサービスを

キラッと★
カンパニー★

でも「利用してよかった」と
思ってもらえれば」と運営に
寄せる思いを話す。

2011年創業。現在は桜
区五関で地域密着型通所介護
「健康倶楽部 楽」、同区神
田で地域密着型通所介護「リ
ハビリ倶楽部 楽」、「居宅
介護支援事業所 楽」、企業
主導型保育事業「もりなか保
育園」を運営している。
代表取締役の渡邊香さん
(42)は「利用者」に「ありが
た」と言われなくてもいい。
各事業所ではマシンは置か
ず、自宅の問題なく過ごせる
よう、生活動作に密着した動
きを取り戻すための活動が行
われている。

その思いは自身の祖父の介
護経験に端を発している。施
設に入所した祖父を見舞う
に、そこにはベッドで手足を
拘束され、自由を奪われた姿
があった。仕方がないと割り
切りつつも、施設に入れたの
は本当に正しい選択だったの
かという、後悔に似た思い
は拭い去れなかったという。



「主役は利用者の皆さん」と話す渡邊社長（右）と
利用者一さいたま市桜区神田の神田事業所

フォレストファミリー(桜区)

未経験で立ち上げ、当初は
ケアマナの知識も乏しかった。
開業にこぎ着けるまでは
融資審査、開業後は人材難、
自身の健康など、さまざまな
苦難を乗り越えてきた。

17年、企業活動の維持・拡大
と社会的健全性の両立推進を
目指す「さいたま市CSRチ
ャレンジ企業」に認証された。
「お客さまは地域の方。サービ
スは地域社会に必要とされる
ものであるべき。」ここで自分
が何をしたかったのか、とい
う基本に立ち返ることができ
たという。18年には、企業主導
型保育園も開業した。

「主役は利用者の皆さん。
私たちは黒子」。他者と寄り
添い、理解し、共に考えるホ
スピタリティ持つ人材を育
て、サービスを提供すること
が使命だという。(新井護)

さいたま市桜区五関820
の1 ☎048・678・2
195

渡邊香社長

施設名の「楽

「楽しい」の思いを込めました。笑う
こと、幸せになること、そのためには
人生を楽しまないと。